

プロが選んだ「日本の名経営者トップ3」②

識者名	経営者トップ3		解説
岡村聡 S&S Investments 代表	① 孫正義	ソフトバンク社長	ヤフー、ガンホーなどへの投資で巨額利益を得た孫氏は、実業家・投資家としても共に超一流。ほぼ全てのM&Aを成功に導く永守氏は元日の午前中以外は仕事をしているという。そのあくなき努力の姿勢が魅力。独立系で日本最大級ファンドを運営する谷家氏は、日本初のネット生保など異分野の創業を次々と助け、若手企業家に慕われる
	② 永守重信	日本電産社長兼CEO	
	③ 谷家衛	あすかアセット マネジメント会長	
岡山謙史 マーケットバンク 代表	① 池森賢二	ファンケル会長	無添加化粧品は池森氏の奥さんのために開発されたもの。今では誰でも知っているサプリメントを日本で最初に売り始めたのも池森氏。鈴木氏はあがり症だが「話術でなく、不安を安心へ逆転させる論法が必要」という経営哲学がよい。永守氏の「能力の差は5倍程度だが、意識は100倍の差がつく」という言葉に、社員育成の意志を感じる
	② 鈴木敏文	セブン&アイHD 会長兼CEO	
	③ 永守重信	日本電産社長兼CEO	
長岡貴仁 経営評論家	① 飯田亮	セコム最高顧問	事業を創り、職を生み出す草食系ならぬ創職系、の経営者を特に評価する。日本で最初の警備事業を始めた飯田氏はいまだ社内で「代表」と呼ばれる。彼の持つ知的ユーモアも人を引っ張る要素。永守氏も性格の明るい経営者で、そこにバイタリティを感じる。井上氏の「任せて任さず」という言葉に人材活用やリーダー育成の哲学がある
	② 永守重信	日本電産社長兼CEO	
	③ 井上礼之	ダイキン工業 会長兼CEO	
小野原克 嘉悦大学ビジネス 創造学部准教授	① 富山和彦	経営共創基盤CEO	産業再生機構のCOOとしてダイエーなどの再建を主導した経験を持つ富山氏は乗り込んで再建を支援するハンズオン型ビジネスを定着させた。斉藤氏は東証・大証の統合を実現。政府圧力に屈しない芯の強さは魅力がある。減点主義のはびこる日本の大手企業にあっては、メガバンクの基盤を築いた永易氏のスケールの大きさは際立つ
	② 斉藤博	日本取引所グループ CEO	
	③ 永易克典	三菱東京UFJ銀行 会長	
カテリーナ・ オッセン 独誌「エナジー& マネジメント」記者	① 柳井正	ファーストリテイリング 会長兼社長	柳井氏は雑誌「タイム」の2013年の世界で最も影響力のある100人に選ばれたただ一人の日本人。グローバルになることに必要なリスクを取ることに、英語ができることの2点だがそれをよく理解している。田中氏はネットビジネスをよく理解し、海外進出に意欲的。全国的に保育所を展開する山口氏も、日本を代表するリステイクカーの一人
	② 田中良和	グリー社長	
	③ 山口洋	JP HD社長	
金玄基 中央日報東京総局長	① 孫正義	ソフトバンク社長	既得権を破ろうとする孫氏のチャレンジ精神は日本の経営者には珍しい。どの国でも航空会社は保守的で企業内文化は変えにくいものだが、JALの組織を根っこから変化させた稲盛氏の経営手腕には敬意を感じる。長谷川氏は一族経営から脱却させ、海外M&Aを成功させた。反発に負けない芯の強さがあり、自分の言葉で発信する経営者
	② 稲盛和夫	京セラ名誉会長	
	③ 長谷川閑史	武田薬品工業社長	
キャサリン・ イバタ=アレックス 米テンプル大学 政治学部准教授	① 石黒不二代	ネットイヤーグループ 社長兼CEO	石黒氏はシングルマザーとして、子連れでスタンフォード大に留学しMBAを取得。ネットマーケティング支援などを行うネットイヤーグループを高成長に乘せ、上場まで果たした能力は優れた。堀場氏は「京都目利き委員会」を発掘・育成する姿勢が素晴らしい。金氏は最先端バイオ技術を武器に機能性食品分野で成功した
	② 堀場雅夫	堀場製作所最高顧問	
	③ 金武祐	ファーマフーズ社長	
楠木達 一橋大学大学院国際 企業戦略研究科教授	① 柳井正	ファーストリテイリング 会長兼社長	柳井氏はライフウェアという明確なコンセプトでファッションアパレルを長期にわたり深掘り、グローバルな成長を実現した。利益を目的とした成長は特筆すべき。三枝氏は経営者を職業とする真の意味でのプロ経営者。経営者を育成する力もずば抜けている。新浪氏は組織階層を上って経営者になったサラリーマン経営者の規範となる存在
	② 三枝匡	ミスミグループ 本社会長	
	③ 新浪剛史	ローソンCEO	
久保克行 早稲田大学 商学大学院教授	① 古森重隆	富士フィルムHD 会長兼CEO	フィルム市場の縮小など外部環境の変化に、事業ポートフォリオの転換で適切に対応。'08年3月期の史上最高益に導いた古森氏の手腕を評価。荷役機器のリーディングカンパニー・キトーの鬼頭氏は、外資による買収を逆に利用して企業価値を向上させた手腕が凄い。M&Aを通じて着実な国際化を進める長谷川氏の實力は高く評価できる
	② 鬼頭芳雄	キトー社長	
	③ 長谷川閑史	武田薬品工業社長	
佐々木俊尚 作家・ジャーナリスト	① 川上量生	ドワンゴ会長	ネットメディアを熟知し、ニコニコ動画やニコニコ生放送を発展させた川上氏の見解と戦略性は日本の経営者の中では希少。状況が煮詰まると危機が迫ると一気に事業を転換させ、一点突破する孫氏の手法は誰も真似できない。広告業界でタブーだった自前メディア戦略を果敢に進めた藤田氏は、ベンチャー企業家の絶対的ロールモデル
	② 孫正義	ソフトバンク社長	
	③ 藤田晋	サイバーエージェント 社長	
高橋彦 経済ジャーナリスト	① 小島順彦	三菱商事会長	日本の失われた20年の間に、逆に商社が黄金期を築けたた小島氏の大膽な投資と細やかな配りの賜物。地場産業の多い醤油業界にあり、茂木氏は'80年代にすでに米進出。今や売り上げの半分は海外で、和食文化を世界に広めた功績は大きい。榊原氏は40年もかけた研究で開発された炭素繊維の有用性を熟知し、業績を拡大させた
	② 茂木友三郎	キッコーマン名誉会長	
	③ 榊原定征	京レ会長	

示したところに凄味がある。「ゴーン氏は世界に通じる『利益・顧客重視』の思想と、日本の企業文化の特色であるモノづくりの素晴らしさを統合する新しい経営手法を生み出した。柳井氏は良くも悪くもデフレ経済に適応した経営フラットフォロムを構築した功績は大きく、まさに『失われた20年』を代表する経営者といえる」(上武大学教授の田中秀臣氏)

危機の時こそ力が試される

5位の小林喜光・三菱ケミカルHD社長と豊田章男・トヨタ自動車社長は、経歴の違いが際立つ。小林氏は東大大学院からイスラエル・ヘブライ大学やイタリヤ・ピサ大学への留学などを経て、同社入社時はすでに28歳。研究畑という「傍流」から社長に大抜擢された。片や、豊田氏は創業一族の生まれで、53歳という若さで社長に就いたプリンスである。